



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2022年(令和4年)11月25日号 No.1909

## 目次

■ トカエフ・カザフスタン大統領再選 — 改革実現に向けて権力基盤を確立 —	1
■ 「ロシアNIS調査月報」2022年12月号のご紹介	8
■ エトセトラ	9
EBRD主催中央アジア・ビジネスマッチングのお知らせ／9 月例報告会「中国・欧州間の物流と新たな輸送回廊の可能性」／9	
■ トピックス	9
ウクライナ産穀物輸出の合意延長／9	
ロシアへの外貨持ち込み手続きを簡素化／10	
日本がウクライナの越冬を支援／10	
米財務省、ロシア産原油の上限設定に新指針／10	
欧州議会がロシアをテロ支援国家に指定／11	
日産、ロシアの撤退手続き完了／11	

## トカエフ・カザフスタン大統領再選 — 改革実現に向けて権力基盤を確立 —

(一社)ロシアNIS貿易会 ロシアNIS経済研究所  
研究員 中馬 瑞貴

### はじめに

2022年11月20日、中央アジアのカザフスタンで大統領選挙が行われた。22日に同国中央選挙管理委員会が発表した公式結果によると、81.31%の得票率で、現職のカシム＝ジョマルト・トカエフ大統領が再選を果たした。投票率は69.44%であった。カザフスタンでは2022年9月に憲法が改正され、大統領任期が5年から7年に延長されており、トカエフは2029年までの権力基盤を確立した。

今回の大統領選挙はカザフスタンの独立以来6回目だが、同国では任期満了前の前倒し選挙が常態化している。今回、2024年の任期を待たずして選挙を実施する理由について、トカエフ大統領は9月に行った大統領教書の中で言及しており、2022年1月の騒乱後、矢継ぎ早に打ち出した政治・経済・社会改革実現に向けた権力基盤の足固めが必要という見解を述べた。「7年という任期があれば改革の実現に十分」とトカエフ大統領自身が発言しているとおり、カザフスタンが本格的な改革の実現に向けて動き出す。